

世の中の移り変わり

西 暦	元号	年 干支	月	おもなできごと	※太字は本邑(本町)関係
古代 原始 旧石器時代				天草に人間が住み始める 牛深内野原遺蹟 倉岳下塔尾遺蹟	
縄文時代 (約1万年前)				狩猟 漁の生活 (たて穴式住居.石器.骨格器.縄文式土器) 杵の原遺跡・道面遺跡・新休遺跡・福岡遺跡 (石器)	
早期				本渡丸尾が丘遺蹟	
中期				五和町二江沖ノ原貝塚	
				本渡大矢遺蹟 (土偶.動物形土製品)	
後期				本渡浜崎貝塚	
晩期				浜崎遺蹟 (小児用甕棺)	
弥生時代(約 2,400 年前)				水田稲作 農耕生活始まる 弥生式土器.鉄器.青銅器 二江沖ノ原遺蹟 (埋葬人骨あり)	
古墳時代(約 1,700 年前)				各地に古墳が造られ始める 妻の鼻 大松戸 須森 新田 古墳) 天草式土器を使って海水より塩を造る	
大和時代	景行	1 2		景行天皇 熊襲征伐	
	景行	1 8		景行天皇が御所浦 樋島 姫浦に寄港 (船止まり伝説)	
	成務	5		天草国造に建島松命 任命される 「先代旧事本記」 大和朝廷の全国統一進む(4世紀中期)	
飛鳥時代				百済から仏教伝来	
5 3 8				聖徳太子 推古天皇の摂政となる	
5 9 3				このころ天草各地で土器を使った製塩が行われる	
6 0 0				肥後国天草郡	
6 0 4	推古	1 2		小野妹子 遣隋使派遣	
6 0 7				大化の改新	
6 4 5	大化	元			
奈良時代				平城京(奈良)に都を移す	
7 1 0	和銅	3		古事記できる (両児島.天両屋島の名がある)	
7 1 2		5		道君首名 筑後 肥後の国司となる	
7 1 3		6		日本書紀が完成する	
7 2 0	養老	4		筑紫館跡から木簡「肥後国天草志記里」出土	
7 4 3				続日本記に天草の名がある	
7 4 4	天平	1 6		肥後国 八代 芦北 天草三郡に大洪水 郡人1,520余溺死「続日本記」	
7 7 8	寶龜	9	1 1	遣唐使 大伴宿弥一行 天草仲島 (長島)に漂着 「続日本記」	
平安時代				平安京(京都)に遷都 5 1 2 (都を移す)	
7 9 4	延暦	1 3		渤海国入唐使崔宗佐門一行甌島に漂着「日本三代実録」	
8 7 3	貞観	1 5	7	新羅国使徐善行 高興善ら天草へ上陸「日本三代実録」	
8 8 5	仁和	元年	4	「和名類聚抄」には「肥後国安万久佐郡に波太.天草. 志記.恵家.高屋の五郷あり」と記してある。	
9 4 1	天慶	4		弘法大師の法孫妙覚法印が蘇迷岳観音院を開基	
鎌倉時代					

1 1 3 7	保延	3		平清盛 肥後守となる
1 1 8 5	文治	元		源頼朝 全国に守護・地頭をおく
1 1 9 2	建久	3		源頼朝 鎌倉幕府を開く
1 2 0 5	元久	2	7	志岐左衛門尉光弘 志岐 6 ケ浦の地頭職に任命 6 ケ浦 (佐伊津沢張 鬼池 蒲牟田 大浦 須志浦 志木浦) 天草種有 本砥(本渡 河浦 産島 高浜)の地頭職となる
1 2 2 0	承久	2		この頃河内浦に天草氏、大矢野氏、宮地氏が出現
1 2 3 3	貞永	2		種有の子播磨局に本砥の地頭職を譲る
1 2 6 0	文應	元		大蔵太夫 (播磨局) 亀川に來迎寺を建立
1 2 7 4	文永	1 1		文永・弘安の役に大矢野、天草、志岐氏ら出陣(1281 年)
1 2 8 1	弘安	4		弘安の役 蒙古襲来に大矢野種保 種村 奮戦殊勲樹立
1 2 8 3	弘安	6		本砥郷山口に諏訪宮を建てる
1 3 0 0	正安	2		この頃天草氏志岐氏により滅ぼされる
室町時代 1 3 1 3	正和	2		本砥島の地頭職、志岐景弘に与えられる 河浦一町田に信福寺(天台宗)を開山
1 3 2 9	正徳	1		志岐弘円と宮地村地頭仏意の争い(～ 1330 年)
1 3 3 3	正慶	2		鎌倉幕府滅亡
1 3 3 4				建武の新政
1 3 3 7				山鹿(志岐)隆弘は北朝方、河内浦(天草)三郎は南朝方に 立ち争う
1 3 3 8	暦応	1		足利尊氏 室町幕府を開く
1 3 3 9	暦応	2		志岐高達 菊池武朝から本戸を与えられる
1 3 4 0	興国	元 3		蘇迷岳観音院に無外禅師が入山 この頃上津浦氏登場
1 3 4 8		4		この頃河内浦氏天草氏を称し出現
1 3 5 0	観応	1		山鹿(志岐)隆弘、足利直冬の求めに応じ馳せ参ず
1 3 5 3		2		志岐隆弘、肥後詫磨城・筑後飯盛城攻めに手柄をたてる
1 3 5 8		3		倉岳町棚底(大権寺)に明俊塔できる
1 3 6 5		4		天草種国、玉名広福寺に誓紙を納める
1 3 6 8	応安	1		足利義満征夷大將軍
1 3 7 0		3		島子・志加木を詫磨氏が支配する
1 3 8 4	至徳	1		志岐又次郎、上津浦上総介・長嶋伊豆守等犬追物に参加 する
1 3 8 5		2		今川仲秋上津浦を攻め、又志岐城を攻め落とす
1 3 9 9		6		志岐高遠、菊池武朝から本戸を与えられる
1 4 0 4	嘉吉	1 1		本渡市亀川古寺に妙永禅尼塔ができる
1 4 4 2	宝徳	2		竜ヶ岳大道東浦に心田了公・座元禅師塔ができる
1 4 5 0		2		この頃栖本氏、久玉氏が出現
1 4 6 7	応任	元		応任の乱
1 4 7 3	文明	5		佐伊津に随了順公により長福寺を創建
1 4 8 7	長享	1		栖本河内の小ヶ倉に磨崖佛建立
1 4 9 6	明応	5		鹿子木親員が隈本城を築く
1 5 0 1	明応	1 0		天草一揆 志岐 上津浦 宮地 天草 長島 大矢野 栖本 久玉)
1 5 0 2	永正	2		河浦益田に観音寺(浄土宗)再興 河浦今村に薬師寺(浄土宗)再興 栖本湯舟原に利明寺(浄土宗)再興 河浦下田に信福寺(浄土宗)再興

1 5 0 5	永正	2		本砥は志岐氏、島子は上津浦氏に与えられる 河浦町益田観音寺、板碑つくられる
1 5 3 0	享禄	3		天草氏が本戸城を築城
1 5 3 1				本渡市本渡町船の尾・尾越板碑つくられる
1 5 3 2	天文			上津浦治種、相良氏の助けにより天草・志岐・栖本・大矢野・長嶋連合軍を破る
1 5 3 3	天文			天草尚種を中心に、長島、志岐、栖本、大矢野合同で上津浦治種を攻める。
1 5 3 6	天文	5		城木場城主砦久大膳太夫 圓覺寺(真宗西)開基 現南町
1 5 3 9	天文	8		楠浦立浦板碑作られる
1 5 4 1	天文	1 0		本戸馬場村に延慶寺(真宗東)創建
1 5 4 3	天文	1 2		ポルトガル船が種子島に漂着 鉄砲伝来
1 5 4 4	天文	1 3		上津浦氏、棚底城・上津浦城を降る
1 5 4 5	天文	1 4		大矢野に唐船着く
1 5 4 9	天文	1 8		フランシスコ・ザビエル鹿児島に上陸 キリスト教布教
1 5 5 1		2 0		天草・上津浦・大矢野氏連合して栖本を攻める 天草弾正左衛門尉行盛、大友義鎮に降伏する
1 5 5 4		2 3		相良氏天草を狙い、長島氏を出水へ追い出す。天草五人衆時代へ
1 5 5 5	弘治	元年		天草五人衆時代 志岐麟泉.天草鎮種.大矢野種基.栖本親高.上津浦鎮直)
1 5 5 6		2		上津浦氏、栖本を攻め、上津浦より棚底攻藤河を破る
1 5 5 8	永禄	1		天草より上津浦攻め、上津浦より棚底攻め、島子より下津浦を攻める
1 5 6 0	永禄	3		栖本・上津浦戦で鉄砲が使われる
1 5 6 2	永禄	5		日野江城主有馬義貞、口之津を開港。イエズス会士、同地に布教始める
1 5 6 4	永禄	7		小島子・下砥岐、天草氏より上津浦氏に返還する。 日本布教長コスメ・デ・トルレス神父、口之津に布教の本拠を移す
1 5 6 5		8		天草・大矢野・上津浦三氏で志柿を攻める 志岐・栖本・有馬・和泉合同で島子を攻める 長島城主天草越前守、島津義虎に滅ぼされる
1 5 6 6	永禄	9		志岐麟泉 キリスト教宣教師ヴィレラを招聘する
1 5 6 7	永禄	1 0		全国の宣教師を招集して志岐宗教会議を開催
1 5 6 8	永禄	1 1		口之津にあったイエズス会日本布教長コスメ・デ・トルレス神父、志岐に来て滞在。布教会議を開く
1 5 6 9		1 2		天草鎮種 修道士ルイス・アルメーダを招聘する 崎津に天主堂を建設
1 5 7 0	元亀	元		天草志岐に全国の宣教師を招き宗教会議を開く カブラル日本布教長となる。 トルレス神父志岐で昇天する
1 5 7 1		2		志岐麟泉棄教。 天草氏、嫡子や多くの家臣と共に洗礼を受く。これより河内浦はキリシタン伝導の拠点となる
安土桃山時代				
1 5 7 3	天正	1	4 7	武田信玄が亡くなる 織田信長が足利義昭を河内へ追放したため、室町幕府が滅亡する

			8	朝倉義景と浅井長政が信長に敗れ自害し、両家とも滅亡する
1 5 7 4	天正	2		「本能寺の変」織田信長が明智光秀に攻められ自害する
1 5 7 5	天正	3		天草鎮尚、授洗
1 5 7 6 1 5 7 9	天正 天正	4 7		天草鎮尚、島津氏と和睦 天草鎮尚、島津氏の麾下にはいる。 イエズス会の巡察士アレキサンドロ・ヴァリニアーノ、 口之津に来航、全国宣教師会議を開き、日本布教の大方針を決定
1 5 8 0	天正	8		島津氏と竜造寺氏の戦いに天草衆参戦 このころ、天草鎮尚の領地でキリシタン 1 万 5 千人を数える
1 5 8 1	天正	9		志岐氏、竜造寺隆信に服属 天草刑部大輔、相良義陽に従い響原に戦死する
1 5 8 2	天正	1 0		豊臣秀吉が明智光秀を討つ「山崎の戦い」 大友宗麟、ローマに遣欧少年使節団を派遣
1 5 8 3		1 1		アルメイダ、河内浦にて没
1 5 8 5		1 3		志岐・上津浦・栖本・天草・島津に従い島原半島に出兵竜造寺軍と戦う
1 5 8 7	天正	1 5 丁亥	4	豊臣秀吉 九州征伐 肥後南半分は小西行長支配 豊臣秀吉バテレン追放令を出す 天草久種等天草五人衆島津に従い大友氏と戦う 天草五人衆秋月で秀吉に降伏し、佐々成政の与力となる 禁教令後、天草久種自領内でキリシタン保護・大矢野種基、一族家臣 2731 人と共に入信
1 5 8 8	天正	1 6		佐々成政失脚(切腹)し天草五人衆小西行長の支配下に置かれる。 鈴木重成生まれる。 ノビシアド(修練院)、河内浦に設置さる。遣欧 4 少年ノビシアド入所。 河内浦で疫病大流行 河内浦城 秀吉が大矢野種基に小西行長合宿を命じ、1755 石をあてがう。 天草久種、小西行長より 6785 石をあてがわれる。 天草でも太閤検地行われる。
1 5 8 9	天正	1 7 己丑	1 1 6 8 9 1 1	天草天正の合戦 (仏木坂に於いて木山弾正 加藤清正軍に刺殺さる) 蘇迷岳観音院が小西行長の兵火を浴び全焼 フロイスが本戸に滞在する 行長天草諸豪に宇土城普請役を命ずる 天草合戦始まる 木山弾正加藤清正に討たれる 志岐城陥落 本渡城陥落、天草伊豆の守討死・天草は完全に小西行長領となる 栖本氏キリスト教入信。 河内浦のノビシアドが大村に移される。
1 5 9 0	天正	1 8 庚寅		豊臣秀吉の全国統一が完成する 少年使節団、活版印刷機を持ち帰る 上津浦氏入信

1 5 9 1	天正	1 9 辛卯		コレジオ（大神学院）天草学林口之津より天草へ移転 遣欧四少年天草のノビシアド（修練院）に入る 遣欧少年使節団、聚楽第で豊臣秀吉に謁見 行長と天草久種の和解が室の津で成立
1 5 9 2	文禄	元年 壬辰		日本最初の金属活字本「平家物語」「伊曾保物語」出版 町山口村に鎮道寺（真宗東）建立 現富岡 豊臣秀吉 朝鮮出兵（文禄の役） （大谷諸兵衛 益田日向兵衛ら天草水軍を率いて出陣） 梅北一揆起こり、栖本親高死す 寺沢広高、長崎奉行に任命さる
1 5 9 3	文禄	2		河内浦にあったコレジオが一時河内浦・大江・久玉に分散される
1 5 9 5	文禄	4		広高、洗礼を受ける
1 5 9 7	慶長	2		コレジオ、長崎に移る 慶長の役・大矢野種基父子、栖本道隆順天で戦死 広高棄教、迫害者へ
江戸時代 1 5 9 7	慶長	2 丁酉		大島子村に西法寺（真宗西）建立 現佐伊津
1 5 9 8	慶長	3		学林、天草より長崎へ移転 豊臣秀吉没
1 6 0 0	慶長	5 庚子		関ヶ原の戦いで徳川家康が勝利する 行長は京都で処刑され天草は加藤清正の領となる 天草久種、小早川秀秋に属し備前に移る
1 6 0 1	慶長	6		天草は唐津藩寺沢広高の領地となる（総高4万2千石）
1 6 0 2	慶長	7		寺沢広高富岡城を築城
1 6 0 3	慶長	8 癸卯		徳川家康 江戸幕府を開く。家康、征夷大將軍 天草は寺沢広高（唐津藩）の領地となる。 寺沢広高、富岡に新城を築き番代を置く。 検地をする。 （4万2千石？）、 加藤清正、熊本城築城に着手する
1 6 0 4	慶長	9 甲辰		富岡に唐津城の支城を築き、番代を置く 広高、長崎代官罷免
1 6 0 5	慶長	1 0 乙巳		徳川家康 徳川秀忠に將軍職を譲る 幕府 諸国大名に国絵図 郷帳作成（統計調査）を命ず 肥後国絵図（永青文庫） 広高キリシタン弾圧強める （河内村石高1028・976石の記録あり） ※河内村（現在の本町・本泉・広瀬）
1 6 0 7	慶長	1 2 丁未		熊本城完成（隈本城を熊本城に改める）
1 6 1 1	慶長	1 6		加藤清正死去
1 6 1 3	慶長	1 8 癸丑		將軍徳川秀忠 全国にキリシタン禁制を発令 宣教師国外追放
1 6 1 4	慶長	1 9		島原・天草はじめ全国でキリシタン弾圧が始まる。アダム荒川処刑さる
1 6 1 5	元和	1		大阪夏の陣・豊臣氏滅ぶ。 細川忠興次子興秋（熊本藩初代藩主忠利兄）、豊臣に組みしも破れ、天草に逃れる。御領組大庄屋の始祖
1 6 1 6	元和	2 丙辰		家康死去 松倉重政、島原城主となる 鎮道寺に真宗天草総録所を命じ富岡へ移転
1 6 2 0	元和	6		絵踏み、長崎で実施される

1 6 2 1	元和	7 辛酉		三宅藤兵衛 天草の番代に着任
1 6 2 3	元和	9		
1 6 2 5	寛永	2		寺沢広高隠居、堅高家督相続
1 6 2 9	寛永	6 己巳		踏絵令を発す 切支丹宗徒の大検挙
1 6 3 2	寛永	9 壬申		徳川秀忠死去。 徳川家光が3代将軍となる 加藤忠広配流細川氏が肥 後藩主となる
1 6 3 3	寛永	1 0 癸酉		幕府鎖国令発布 中浦ジュリアン（少年使節）、長崎で倒し倒吊りの刑を受け殉教
1 6 3 4	寛永	1 1 甲戌		1 4 年まで異常気象 天草不作続く 餓死者多数 幕府、酒造高の半減を命ず・細川藩、年貢の減免を命ず
1 6 3 5	寛永	1 2		参勤交代が制度化される
1 6 3 6	寛永	1 3 丙子		寛永通寶鑄造さる 天草の人口2万5千人
1 6 3 7	寛永	1 4 丁丑	1 0 1 1 1 2	本村及び近村の百姓が天草四郎勢を攻撃 天草島原の乱 切支丹一揆勢（天草四郎）と領主寺澤勢が島子村で合戦 本戸の合戦で番代三宅藤兵衛討死 更に富岡城を攻めたが落ちず坂瀬川より原城へ向かう） 一揆勢原城に籠城
1 6 3 8	寛永	1 5 戊寅	2 3	宮本武蔵、原城総攻撃に参戦し一揆勢の投石で負傷 天草より籠城者男女12,208人死滅 原城 落城す 天草四郎以下一揆勢3万7千人は討死 松平伊豆守信綱 乱後の天草巡視 山崎家治が領主となる 富岡城を再建 魚貫崎遠見番所設置
1 6 3 9	寛永	1 6 己卯		幕府は鎖国令によりキリシタンを厳しく取り締まる
天領専任統治				
1 6 4 0	寛永	1 7		宮本武蔵が細川忠利に招かれ熊本城下に住む
1 6 4 1	寛永	1 8 辛巳		鎖国体制完成 山崎家治、讃岐丸亀へ移封 幕府天草を天領とし鈴木重成を初代代官に任命 重成は天草を10組86ヶ村に分け、村々に庄屋を置く 旧「河内村」は御領組（下河内村：佐藤家・ 新休村：福田家・本村：鶴田家 ） 諏訪神宮は本渡へ移転、本渡の市始まる 牛深遠見山番所設置
1 6 4 2	寛永	1 9 壬午	7	幕府、天草に移民を奨励 薩摩藩より移民35戸155人 馬匹49頭移入 熊本藩より移民50戸170人 馬匹2頭移入
1 6 4 3	寛永	2 0 癸未	1 0	正天皇譲位後光明天皇踐祚（位を継ぐ）（将軍徳川家光） 宮本武蔵「五輪ノ書」を著す 山口村に諏訪宮を再建（鈴木重成） 志岐村に白華山円通寺を創建（鈴木重成） 天草の人口5千人
1 6 4 4	正保	元年甲申	1 1	本戸郡代役所跡に禅寺向陽山明德寺12石建立（鈴木重成） 志岐に国照寺を建立（鈴木重成） 平床矢筈岳に山ノ神建立

			1 2	江戸幕府正保郷帳（統計調査）作成を命ず
1 6 4 5	正保	2 乙酉		重成定浦制定める（弁指制） 湯舟原村に浄土真仏性山宗円性寺30石を再建（鈴木重成） 一町田村に浄土真宗天草山崇円寺30石を創建（鈴木重成） 御領村に曹洞宗月桂山芳證寺12石創建（鈴木重成） 本渡町に曹洞宗向陽山明德寺12石創建（鈴木重成） 佐伊津村に真言宗大乾山満珠院阿弥陀寺創建（鈴木重成）
1 6 4 6	正保	3 丙戌		上津浦に曹洞宗正覚寺を創建（鈴木重成） 正保郷帳（石高 下河内村104石 枝郷「掛道村」31石6斗 本村203石、新休村86石）
1 6 4 7	正保	4 丁亥		郡中に移住民500人を招致 農具は公儀持ち 家居は其村提供 富岡に天草島原の乱戦没者の首塚を建立 崎津諏訪宮創建
1 6 4 8	慶安	元年戊子	1 1	鈴木重成 命じて新休村に松栄山東向寺創建 徳川將軍家菩提所として郡中鎮護の霊場に当てる 中華珪法、開基
			1 2	重成 郡中諸寺社へ寺社領寄与の證状を發令 総石高300石 東向寺50石 国照寺45石 円性寺30石 崇円寺30石 瑞林寺15石 明德寺12石（内2石明栄寺） 芳證寺12石（内2石長興寺）
1 6 4 9	慶安	2		慶安の御触書
1 6 5 0	慶安	3 庚寅		下河内村普門院創建
1 6 5 1	慶安	4 辛卯	夏 8	東向寺の工略々成就 中華珪法 家光の廟に弔禮 徳川家綱を將軍職とする 崎津八幡宮創立
1 6 5 3	承應	2 癸巳	春 1 0	重成上府す 直接老中に郡状を訴え 石高半減の聴許求む 重成 江戸神田賜邸において自刀（切腹）する 年66
1 6 5 4	承應	3 甲午	3 3	郡中に始めて切支丹禁制の高札を建てる 下河内佐藤家3代（俗名不祥）歿す 自刀した鈴木重成公の遺髪を中華珪法が貰い受け寺領内に埋葬する
1 6 5 5	明暦	元乙未	4	鈴木伊兵衛重辰を天草代官に任命 下向する（派遣）
1 6 5 7	明暦	3		富岡、町となる
1 6 5 8	明暦	4		天草の人口 16,000 人、乱時の人口に回復
1 6 5 9	萬治	2 己亥		鈴木重成 重辰親子2代に亘り郡高減石を申請の熱意は 漸く幕府要路の容る処となり検地改替え許容さる 即ち総高2万1千石余の決定。石高半減の宿望遂に達成 萬治検地（石高下河内村195石9斗、新休村104石、 本村123石7斗） 福連木官山の櫓の木切り出し始まる 7ヶ浦を改定し、20ヶ浦へ 天草の人口1万6千人
1 6 6 3	寛文	3 癸卯	9	天草東部禅宗本寺 新休 東向寺開山の中華珪法が 示寂（死去）（76才）
1 6 6 4	寛文	4 申辰	6 7	新休 東向寺梵鐘改鑄（2世神養珪谷） 私領復活統治 戸田忠昌支配
1 6 6 5	寛文	5 乙巳		鈴木重成 重辰の功績を称え 郡民各村に鈴木塚を建立 郡中郷村5人組帳始まる

1 6 6 6	寛文	6 丙午	1 0	佐藤家4代弥兵衛歿す（死去）
1 6 7 0	寛文	1 0 庚戌		鈴木重辰、京都にて死去 富岡城破城（戸田忠昌）
1 6 7 1	寛文	1 1 辛亥	3 5	戸田忠昌関東に領地替え 小川藤左衛門正辰着任す 小川代官支配 福岡 聖福庵創建
1 6 7 2	寛文	1 2		染岳観音堂の草庵として〔慈眼庵〕を建立 郡中の馬4千頭余り瀕死 翌年幕府より千両拝借し薩摩より馬667頭購入 長崎奉行始まる 砥岐組のみ、島原城主松平忠房の預かり所となる
1 6 7 3	延寶	元癸丑		長崎奉公人出始める。 山方約(15人)新設、富岡・崎津・亀川に配置する
二次天領統治				
1 6 7 6	延寶	6 戊午		大風水害で天草被害甚大 凶作
1 6 7 9	延寶	7 己未	7	徳川綱吉を将軍にする（靈元天皇）
1 6 8 0	延寶	8 庚申	8	幕府 切支丹厳禁の令を発令 南西に彗星現れる この年大飢饉
1 6 8 2	天和	2 壬戌	1 0	奢侈禁令郡中に觸達される 本村平床に光徳庵（香徳庵）創建
1 6 8 5	貞享	2 乙丑	春	服部六左衛門三正着任する 服部代官支配 幕府 生類憐愍の令を発令 犬の繋ぎ置きを禁止 崎津鳥居建立(現存するものでは天草最古) 八代郡五家荘、天草代官の支配所となる
1 6 8 7	貞享	4 丁卯	1 3	幕府 更に生類憐憫の令を発令生類の戸籍帳作成を命ず 靈元天皇譲位、東山天皇受祚（位を継ぐ）(将軍綱吉)
1 6 8 8	貞享 元禄	5 戊辰	8	下河内十五社宮鳥居建立 （庄屋佐藤平左衛門） 大矢野組、14年間の島原預かりを解かれ天草代官支配 下に復帰
1 6 9 0	元禄	3		染岳観音堂建設着手
1 6 9 1	元禄	4 辛未		天草の人口34,357人 下河内村195石9斗4升、庄屋佐藤平左衛門。 23軒227人（男122・女105） 新休村104石4斗6升、庄屋福田平兵衛。 15軒156人（男82・女74） 本村123石7斗2升、鶴田市之丞。 32軒、375人（男208・女167） 平床の山奥に鉄山あり
1 6 9 2	元禄	5 壬申		幕府對高野山學侶行人之間の衝突進行裁判 驅逐千余人 幕府 高野山の真言宗僧徒 600余人を流刑 東向寺五世、密山道實により寺領に迦葉軒を創建
1 6 9 3	元禄	6 癸酉		高野山の行人僧 140人を天草へ流刑 富岡7 志岐16 御領15 本戸20 栖本20 大矢野18 砥岐8 久玉7 一町田11 大江10 五島155 隠岐155 高野山流人 権大僧都栄遍、大浦で示寂(九品寺)
1 6 9 4	元禄	7 戊	1 2	高野山流人 権大僧都祐慶大和上、大浦で示寂(九品寺)
1 6 9 5	元禄	8		高野山流人 西福院法印祐遍高浜隣峰寺 で示寂
1 6 9 7	元禄	1 0 丁丑	1 0	高野山流人 長福院秀漢、志岐で入寂（国照寺）
1 6 9 8	元禄	1 1 戊寅		魚貫崎に唐船漂着する 高野山流人 正福院乗良雲、志岐で入寂（国照寺）

1 6 9 9	元祿	1 2 己卯	4	下河内村庄屋 5 代佐藤平左衛門歿す（死去）
1 7 0 0		1 3		高野山の配流僧ら赦免
1 7 0 1	元祿	1 4 辛巳		福連木の樫 7,000 本を檜柄に切り出す
1 7 0 2	元祿	1 5 壬午		江戸無宿 55 人天草に配流 赤穂浪士 47 名が討ち入り 天草で甘藷栽培
1 7 0 3	元祿	1 6 癸未		江戸無宿 45 人天草に配流
1 7 0 5	宝永	2		砥岐組 7 カ村の男女 144 人薩州伊佐郡菱刈に移住
1 7 0 7	寶永	4 丁亥	1 1	富士山噴火し 山腹に寶永山を生ず
1 7 0 9	寶永	6 己丑		郡中疱瘡病人手当方を制定
1 7 1 1	正徳	元		天草の人口 52,785 人
1 7 1 2	正徳	2		天草陶石発見
1 7 1 3	正徳	3 癸己		高野山流人 正覚院権大僧都秀量、志岐で示寂（国照寺） 大庄屋制度廃止
1 7 1 4	正徳	4 甲午	7	天領委任統治 豊後日田の室七郎左右衛門代官兼撰 天草の大庄屋特例として復活 凶作にて大飢饉
1 7 1 5	正徳	5		切支丹宗禁制高札 26 枚立つ 富岡に蔵元設置
1 7 1 6	享保	元年丙申		享保の改革（将軍吉宗）
1 7 1 7	享保	2 丁酉		唐津浪人 広田和平が横久保で泥人形製作始める 明德寺楼門建立 西国巡検使来島
1 7 1 8	享保	3		天草全島人口 65,000 人
1 7 2 0	享保	5 庚子	6	島原領所支配 松平忠雄兼帯 郡中総高 21,645 石 7 升 7 合
1 7 2 1	享保	6 辛丑		「宗門人別改帳」の実施 幕府諸国の人口田畑を録進させる 天草は島原城主松平主殿頭忠雄の預地となる 富岡でフカ狩り始まる
1 7 2 2	享保	7		島原城主松平忠雄、天草初巡視
1 7 2 4	享保	9 甲辰		江戸よりの流人 48 名を村預け
1 7 2 5	享保	10 乙巳	3 9	東向寺六世 迦葉軒 2 世に泰林光心 下河内神社に石灯籠建立 大地震 天草で甘藷栽培始まる
1 7 2 8	享保	13 戊申	2	新休村東向寺 6 世泰林光心示寂す 年 62 才 福岡行人岳に観音堂を建立
1 7 2 9	享保	14 己酉		郡中大飢饉死者 4 百餘人
1 7 3 1	享保	16 辛亥	8	本村神社に鳥居建立(庄屋 磨田孫右衛門)
1 7 3 2	享保	17 壬丑		大凶作 巡検使 13 名来島 西南諸国餓死者百万人
1 7 3 4	享保	19 甲寅		幕府島原藩に命じ救援米千石を貸す
1 7 3 6	元文	元年丙辰	10	島原新城主松平主殿頭忠愼天草巡視 （新休村東向寺参詣本村～仏木坂～志岐）
1 7 4 0	元文	5 庚申		島原藩主松平忠刻初巡察 天草は大凶作
1 7 4 3	寛保	3 癸亥	12	西空へ彗星出現 翌子年正月 13 日頃までで罷む 志岐方面の石炭を発見する
1 7 4 5	延享	2 乙丑		大雨のため大凶作
1 7 4 6	延享	3 丙寅		西国巡検使来島 郡中惣高 21,286 石・8,288 軒 74,657 人・牛 708 頭・馬 3,937 頭

				船 1,342隻.鉄砲 546挺) 郡内(寺数 51社.神宮 266. 郡中村々道法調査(本泉村より下河内村へ8丁、 下河内村より新休村へ18丁、新休村より本村へ6丁 ※1丁は109m (下河内村庄屋 佐藤務右衛門・ 新休村庄屋 福田奎右衛門・本村庄屋 鶴田令右衛門) 桃園天皇踐祚あらせらる 将軍家重 飢米 1,986石4斗 公儀より拝借に及ぶ 天草の人口74,657人
1747	延享	4丁卯	5	松平忠祇兼帯
1748	寛延	元年戊辰		新休村東向寺(9世靈泉惠照)随意會地となる
1749	寛延	2己巳	7	本村前原の鈴木塚近くに石造社殿新建 正式に鈴木社を奉祠し随意會開帳させる 平床鉾矢筈岳に観音菩薩を建立 島原預所支配 戸田忠盈兼帯 肥後藩.寶暦の改革
1750	寛延	3辰午	1	下河内村庄屋七代佐藤茂兵衛の次男瑞岡珍牛八才にして 新休村東向寺九世、靈泉惠照を禮し薙髮(剃髪) 具足戒(僧侶が守るべき道德規範・規則)を受く 新島原城主、下野国宇都宮城主戸田忠辰と国替え 天草 は戸田氏預かりとなる
1751	寶暦	元辛未		宝暦年間(1751~1763) 新休に花谷庵を創建 戸田忠辰島原藩主となる 高浜にて陶石採掘を始める
1754	寶暦	4甲戌		智子内親王踐祚あり、後櫻町天皇(徳川家治) 戸田忠寛島原城主 福岡に地藏堂を建立(観音菩薩を合祀)
1755	寶暦	5乙亥	9	下河内村庄屋六代佐藤彌兵衛歿す 諏訪神社山口村より現在地に移転、大祭に農具市開催(本 渡の市の起源)
1760	寶暦	10		中村頤亭御領に私塾「正論社」を開塾
1761		11		天草人口、89、982人
1762	寶暦	12壬午	12	高浜上田伝五衛門が鷹巣山に高浜焼きを始める 寺領迦葉軒下に地藏尊建立
1763	寶暦	13癸未		本渡諏訪神社町山口より遷座 大祭に農具市開く
1765	明和	2乙酉		下河内神社に石灯籠建立 山仁田において水平焼き始まる
1768	明和	5戊子	4	日田西国郡代支配 揖斐政復兼任
1769	明和	6己丑	7	東向寺10世泰梁慧貞 染岳観音院を再興 東向寺門末
1770	明和	7庚寅 7		寛永通寶増鑄(追加発行)される 下掛道秋葉さま建立
1771	明和	8辛卯		大庄屋に名字帯刀(姓と刀剣所持)を許す 出米騒動起こる
1772	安永	元		疱瘡流行、本戸馬場村59人隔離
1773	安永	2癸巳		栢原高尾山に鈴木三神像を建立 天草、最初の大規模な百姓一揆
1774	安永	3甲午	5	杉田玄白ら「解体新書」著わす 揖斐靱負兼任
1776	安永	5		アメリカ合衆国独立宣言
1777	安永	6丁酉		大暴風 郡中の田6割が被害 畑収穫皆無

				柙原において金助 為七 久平等、邪宗の信仰が発覚、 庄屋より一喝され忽ち翻心（悔い改める） 3名は 惣村中へ詫び證文を入れ内済となる
1 7 7 8	安永	7 戊戌		大島子村に隠れ切支丹4名が発覚 牢屋 手鎖
1 7 7 9	天明	8 己亥	1 1	光格天皇 将軍家治
1 7 8 1	天明	元年辛丑	9	下河内村庄屋7代佐藤茂兵衛歿す 富岡で蔵元騒動起こる
1 7 8 2	天明	2 壬寅		天明の大飢饉起こる（～1 7 8 7）
1 7 8 3	天明	3 癸卯	9	島原預所支配 松平忠恕兼帯 町山口村に疱瘡流行、罹患 43 人
1 7 8 4		4		天草の人口 10 万人を突破
1 7 8 5	天明	5 乙巳		柙の原下に弘法大師堂建立（地藏合祀） 越中富山の売薬業者来島の記録あり
1 7 8 6	天明	6 丙午	9	光格天皇 将軍家齋 福岡長田に秋葉さま建立
1 7 8 7	天明	7 丁未		寛政の改革 牛深村にて一揆起こる
1 7 8 8	天明	8 戊申	2 3 6 1 0 1 0	東向寺1 2世超宗越覺 常恒會地聴許を得て帰山する 米穀買占酒類密造厳禁令発布 郡中酒屋6 6 軒 株高1,7 6 6 石4 斗2 升5 合 酒造総高3,1 6 8 石7 斗9 升 島原城主松平忠恕天草巡視のため来島 東向寺常恒會開発結制申立相撲興行（1 3 日まで） 本村前原鈴木社を茅葺きの社殿拝殿に改築鈴木三神を 祭神として併祠し常恒會結制に引き続き1 5 日まで開帳 相撲興行を続行これより 1 4 日を以て社祭日 と定める
1 7 8 9	寛政	元年己酉	1 8 1 2	瑞岡珍牛（4 8）長州より帰山し染嶽観音院へ入る 珍牛、東向寺へ晋山（1 3 世） 下河内神社に石灯籠建立
1 7 9 0	寛政	2 庚戌		江戸勘定所より関東移民をすすめたが希望者なし
1 7 9 2	寛政	4 壬子	4 7	島原（眉山）大爆発 天草一帯津波襲来 家屋流失死者1 5,0 0 0 余人、郡中被害1 8 ケ村、死者 3 4 3 人 世に「島原大変肥後迷惑」と言う 松平忠馮兼帯
1 7 9 3	寛政	5 癸丑		一町田・大江組に願ひ百姓一揆あり 百姓相続方仕法が通達される
1 7 9 4		6 甲寅		宗門改めの為島原表より出役 寺領鈴木社下に観音菩薩を建立 天草の人口1 1 2, 0 0 0 人（天草島原乱後12, 208人）
1 7 9 5		7		新休中尾に金比羅さま建立
1 7 9 6	寛政	8 丙辰	5	百姓相続方仕方1 1 ケ条裁許（寛政の特政） 宗門改めの為 島原表より出役 大雨洪水 田畑被害甚大 田方半作 下河内村庄屋 佐藤周蔵 新休村庄屋 福田恒助 本村庄屋 鶴田新五右衛門 相続方仕方実施に当たり郡中村役より相続方掛庄屋 佐藤周蔵など2 2 名に島原表より褒詞の晒布拝領
1 7 9 7	寛政	9 丁巳	7	島原藩主松平忠憑天草初巡視一行2 0 8 人 東向寺山門前に准胝観音を建立

1 7 9 9	寛政	1 1 己未		宗門改めの為島原表より出役 5月中旬より早魃
1 7 9 9	寛政	1 1 己未	9 1 2	無類の不作につき 百姓騒ぎ 立て村々を袖乞（物貰い） して押廻り遂には打毀（破壊）や暴挙に及ぶ 重立つ者に牢舎又は手錠申し付け島原表より吟味の上 江戸表へ経伺中の処、裁決あり夫々罪科申し渡される （ 下河内村忠兵衛を追放 不逞百姓を出した下河内村庄屋 へ過料錢90貫文 ） 役所へ拝借銀願上げ3千貫匁の下銀（給付）あり 下河内村庄屋八代佐藤周蔵歿す
1 8 0 2	享和	2 壬戌	7	幕府 醸酒の冥加金を徴収する 普門院入口に准胝観音を建立
1 8 0 3	享和	3 癸亥	5	郡中麻疹大流行 大雨洪水 郡中田畑の荒地頻出 被害特に甚大の 下河内村 本村 など13ヶ村は見分の上 荒高500石減石される
1 8 0 4	文化	元年甲子	1 1	郡中村々消防組 施設につき令達 今富村で銅製の異仏が発見される 尾張瀬戸焼の陶工加藤吉左衛門の次男民吉 高浜焼きの 染付秘法を得るため東向寺天中を介して高浜村庄屋上田 源太夫の製陶工場へ入所する 天草の人口140,446人（天草島原乱後12,208人）
1 8 0 5	文化	2 乙丑	9	郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 隠れキリシタン発覚 5千人を数える（高浜 大江 崎津 今富） 郡中 貯穀過納税酒造税 （酒造21歩米代銀） 取立方掛り 庄屋12名を選定 下河内村庄屋佐藤弥右衛門 下河内神社の拝殿再建 新休竹の尾に愛宕さま建立 御領石本平兵衛、大飢饉救済米を贈る
1 8 0 6	文化	3 丙寅	6	早魃 に付き 東向寺に於て17日より17日間祈禱 御領村銀主松阪屋石本平兵衛丁錢三千貫文（750両） 郡中へ村方の夫食料として寄付
1 8 0 7	文化	4 丁卯		郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 害虫発生 稲作被害甚大 高浜村に疱瘡流行罹患180余人死者72人
1 8 0 8	文化	5 戊辰		異国船入港の報に村々心得方配布 嚴重警戒にあたる 京阪より流人9人を村預け
1 8 1 0	文化	7 庚午	1 0 1 1	郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 測量方伊能勘解由忠敬一行薩州長島獅子島～大多尾 着船（牛深に至り高浜 富岡 二江を測量） 下河内を測量 し亀川 瀬戸～上島大矢野を測量 御所浦諸島を最後に天草全島の測量完了 53日間 天草の人口128,244人
1 8 1 1	文化	8 辛未	2	本村鈴木神社境内に祭神三君を称えた顕彰碑建立 宇土梶山に観音菩薩を建立 本村人高1333人（男660・女673） その他寺領人高392人（男207・女185） 御領石本平兵衛、大飢饉救済米を贈る
1 8 1 2	文化	9 壬		富岡町の銀主等は年賦貸付金の全てを棄損する
1 8 1 3	文化	1 0 癸酉		天草を長崎代官高木作右衛門が兼帯支配

				栢原の百姓清作外7名が秘仏を拝んでいる事が発覚し 佐藤庄屋へ詫証文を入れ内済に取り計られる
1 8 1 4	文化	1 1 閏癸	2	長崎代官支配 高木忠任兼任 仁孝天皇 将軍家齋
1 8 1 5	文化	1 2	1 3	迦葉軒入口に准胝観音を建立 新休花谷庵に准胝観音を建立
1 8 1 6	文化	1 3	2	二又阿弥陀堂脇に准胝観音を建立
1 8 1 7	文化	1 4 丁丑	7	本村新休村外三ヶ村入會嫁場出入の件 井手組大庄屋長島宇源太 本戸組大庄屋木山十兵衛 志柿村庄屋永野九郎太夫を現場見分に立会わせ内済扱 高浜上田 宜珍、陶石販売をはじめる 天草の人口1 3 2, 2 0 5人
1 8 1 8	文化 文政	1 5 元戊寅	1	洗切に准胝観音を建立 吉田左太一東壁が栖本河内村に私塾「学半舎」を開く 本村梶山で下駄山をめぐる入会山紛争起る 音丸周硯が大島子に寺小屋開設（2 5名）
1 8 1 9	文政	2	4	下鶴久保利に准胝観音を建立
1 8 2 1	文政	4 辛巳	7	伊能忠敬の大日本沿海実測地圖 同実測録完成する 郡内諸色雜貨小売商に大間屋株を設定株元は夫々運上を 上納し郡内消費の餘荷は代銀にて年々會所に納付させる 蠟燭餐付け（整髪料）引請 下河内村（伊三郎） 馬尾掛尻具 下河内村（幸之丞）
1 8 2 3	文政	6 癸未		上田宣珍「天草島鏡」完成 本村鈴木社に対し神祇管長より鈴木明神と称する神宣状 を下附される この頃甘蔗(さとうきび)栽培盛んになる
1 8 2 4	文政	7 甲申	9 9	本村鈴木社社殿再建の工成就する 横久保に三宮神社（東向寺の鎮守）創建
1 8 2 5		8		上鶴に金比羅さま建立
1 8 2 6		9		天草の人口1 4 2, 7 8 2人
1 8 2 7	文政	1 0 丁亥		村々貯穀並2 0 分1 御下穀石數改請印覺 下河内村 粃7石2斗2升7合 外粃1斗2升 新休村 粃4石6斗6合 外粃7升8合 本村 粃5石1斗7升4合 外粃9升）
1 8 2 8	文政	1 1 戊子		大暴風被害甚大（損害反別 田1,0 9 9町2反8畝7歩 畑2 3 5町9反2畝5歩 漬家（床下浸水）4,6 8 6軒 半漬家1,4 1 5軒 溺死2 2人）
1 8 2 9	文政	1 2 己丑	9	新休若宮社に標柱を建立 昭和64年1月鶴田功確認 本村神社に石灯籠建立
1 8 3 0	天保	元年庚寅		大暴風雨 新休村被害甚大幕府より手当銀4貫9 8 3匁借入 本渡町山口村に徳田屋塾（平方権之助）開塾
1 8 3 1	天保	2 辛卯		水害虫害相嵩み作物大被害 新休若宮神社に石灯籠建立（廃棄） 福岡に志賀さま建立
1 8 3 2	天保	3 壬辰	3	日田郡代支配 監谷正義兼任 町山口川の祇園橋建立 高野山知恩院権大僧都定舜上人河浦へ流罪（信福寺） 天草の人口1 4 3, 0 4 1人
1 8 3 3	天保	4 癸巳		旱魃水害虫害相嵩み被害甚大

			7 1 0 1 1	郡内百姓騒動(都呂々 下津深江 櫛宇土 楠浦 宮地) 長崎代官支配 喬木忠篤兼任 東向寺 出火全焼す 法堂 庫裡 方丈 東司 僧堂 衆寮 下部屋 納屋 山門廻廊 鐘樓 法藏二字悉く全焼 となり僅かに仏像 記録過去帳のみ残存し古佛の宝物 什器一切を焼却す(18世老山梅翁) 本村永野に屯する38人程の小前百姓共 櫛宇土を經 て帽子岳の同勢へ合夥す 下河内村庄屋 佐藤弥太郎 46 新休村庄屋 福田平右衛門 27 本村庄屋 鶴田左一郎 20
1 8 3 4	天保	5 甲午	9 1 0	下河内村百姓壽助騒立件に付取糺筋あり長崎奉行所 へ出頭させよと郷宿圓城寺儀兵衛方へ届けられる 寺領に天神様(菅原道真公)建立 下河内村庄屋九代佐藤弥右衛門歿す 船之尾の祇園橋完成 石工 下浦辰右衛門 このころ定舜上人が一町田に「臨川塾」を開く
1 8 3 5	天保	6 乙未		天保通寶鑄造さる 梶山に志賀大明神建立 鶴田代に滝の上観音建立
1 8 3 6	天保	7 丙申		郡中食料欠乏 飢餓死人出る
1 8 3 8		9		矢筈岳に金比羅さま建立
1 8 3 9	天保	1 0 己亥	1 0	幕府 百姓の武芸を禁ず 下河内十五社宮を改築
1 8 4 0	天保	1 1 庚子		幕府 神事祭礼の華美・百姓の武芸を禁止する
1 8 4 1	天保	1 2 辛丑	3	天保の改革 下河内村差置の流人無宿江戸の岩吉(23)島抜け(脱獄)
1 8 4 2	天保	1 3 壬寅		富岡志岐で疱瘡大流行罹患者千人余死者50余人 二又黒染に観音菩薩を建立
1 8 4 3	天保	1 4 癸卯		天草の百姓ら相続仕法復活要求で長崎奉行所へ出訴
1 8 4 4	弘化	元年甲辰	1	大矢野 砥岐 栖本の百姓数千人所々打毀(破壊)
1 8 4 5	弘化	2 乙巳		御領組大庄屋長岡太郎左衛門相続仕法要求のため江戸 幕府へ越訴(本来の手続きを飛び越して訴訟する) 弘化の討壊し 古江村庄屋永田隆三郎を盟友として一揆勃 発 忽ち郡中へ広がる外暴民15,021人
1 8 4 7	弘化	4 丁未	1 ~	新休の若宮神社に鳥居建立 下河内道面に清正公さまを建立 天草は日田大官 竹尾清右衛門の領有となる 池田岩之丞兼任 日本近海に異国船の出没が頻繁
1 8 4 8	嘉永	元戌申	1	凶作続きにて夫食窮迫す(食糧危機)
1 8 5 1	嘉永	4 辛亥	6	下河内村差置の流人亀助(27)島抜けする(脱獄) 東向寺伽藍再建(20世師静祖眞)
1 8 5 3	嘉永	6 癸丑		ペリー 浦賀に来航 ロシヤ特使プチャーチン長崎に来航
1 8 5 4	安政	元年甲寅	2	日露和親条約調印 北方四島(国後・択捉・歯舞・色丹)日本帰属が決定 日米・日英和親条約締結
1 8 5 5	安政	2 乙卯		日仏・日蘭和親条約締結 下島に天然痘流行 新休黒岩に将軍様(鈴木重成)の碑を建立 下河内村差置の流人亀吉 居小屋に不在 探索敵命の回書

1 8 5 6	安政	3 丙辰	春 春秋	東向寺境内に私塾聴松堂を開塾（文久3年廃業） （大矢野上村の竹添順左衛門荀園） 生徒70名 勝麟太郎（海舟）富岡 鎮道寺に宿す この年大旱魃
1 8 5 7	安政	4 丁巳	6	下河内村庄屋佐藤弥太左衛門・ 寺領引地に城の神様（鈴木重成）を建立 新休村庄屋福田又七朗門・本村庄屋 鶴田要之丞）
1 8 5 8	安政	5 戊午		郡中にコレラ病流行 劇痢病流行し死者多数 金性寺境内88ヶ所霊場
1 8 5 9		6		東向寺を肥後33観音11番札所に指定
1 8 6 0	萬延	元年庚申	8	桜田門外の変（井伊直弼殺害） 精鐵錢鑄造される 東向寺本堂復興 前原の山王宮に鳥居建立 天草の人口155,000人 赤崎村庄屋北野識部、長崎外人居留場2万坪埋立に成功
1 8 6 1	文久	元年辛酉	1 10	本村の為兵衛外3名 隠酒造発覚し 手鎖宿預け 本村庄屋は會所預けとなる 楠浦村庄屋宗像堅固釜ノ迫堀切工事着工 長崎代官高木作右衛門（健太郎）兼任
1 8 6 2	文久	2 壬戌	3 4	本村に差置の流人鐵三（33）島抜け 杵ノ原地蔵堂に捨て児事件 本村に野狐使いが居て2百人餘も一時に熱病患者続出 日田郡代支配 屋代増之助兼任 文久永寶鑄造される 値賀紋水、本戸馬場村に私塾集義館を開く
1 8 6 3	文久	3 癸亥		竹添荀園、町山口村に私塾誠文堂開く 郡中より薩摩へ出稼ぎ人出発 窪田郡代支配
1 8 6 4	元治	元年甲子		楠浦村庄屋宗像堅固の前潟新田釜の迫鑿河工事完成 御領村大島の小山秀の進、長崎の大浦天主堂を建立
1 8 6 7	慶応	3 丁卯		15代将軍徳川慶喜が大政奉還 長崎の漢詩人谷口藍田が本戸馬場村明德寺内に文学塾開 天草の人口156,186人
1 8 6 8	慶応	4 戊辰	4 6 8	天草郡は富岡県となる 天草県となる 天草は長崎府に併合され、37村に統合

現 代

1 8 6 8	明治	元	9	元号を明治と改める 神仏分離令出る 米1升2銭3厘
1 8 6 9	明治	2		長崎県の管轄となる
1 8 7 0	明治	3	9	庄屋を廃止里正を置く 佐藤弥太郎（本村 新休 下河内 本泉） 平民に氏の称を認める
1 8 7 1	明治	4	4 11	廃藩置県 熊本県八代県を設置 北海道へ移民募集
1 8 7 2	明治	5	2	天草は八代県に所属 里正を戸長と改称 学制頒布 天草学校が設立 太陽暦を採用 天草で郵便始まる
1 8 7 3	明治	6	1	肥後国全体を白川県とし、天草は白川県に編入 天草郡役所が富岡から町山口村（本渡）へ移転 地祖改正条例公布 切支丹禁制の高札撤廃（261年間）

1 8 7 5	明治 8		平民に苗字を義務付る 球磨郡へ移民募集 旧幕時代の雑税を廃止し車税.酒税.煙草税を定める 下河内村晋門院を校舎として下河内新休学校開設 教員萩野孫三郎 本村引地に民家を借り小山忠重を教員として本村学校を開設 上舜上人示寂（信福寺）
1 8 7 6	明治 9		白川県を熊本県と改める 廃刀令布告 断髪令がでる
1 8 7 7	明治 10	2	西南戦争
1 8 7 8	明治 11	2 1 1	郡 区町村の編成 東向寺門前に下河内新休学校校舎新築 本村学校 福岡に新築移転
1 8 7 9	明治 12		各村に郵便局開局
1 8 8 1	明治 14		国会開設 荷車使用始まる 6 台
1 8 8 2	明治 15	4 7	下河内市ノ瀬橋完成 下河内市ノ瀬橋未曾有の洪水で流失
1 8 8 3	明治 16		フェリエ神父大江天主堂設立
1 8 8 4	明治 17		天草全郡 5 3 町村列に編成変え
1 8 8 5	明治 18		フェリエ神父崎津天主堂設立 ハワイ移民始まる 天草の人口 1 6 8, 2 2 1 人
1 8 8 6	明治 19	4	学校令発布 小学校は尋常 4 年（義務制）高等 4 年となる 下河内学校 本村学校を合併 寺領庄司原に天草郡立本村小学校校舎新築
1 8 8 8	明治 21		熊本鎮台を第六師団と改称する 警察署を設置
1 8 8 9	明治 22	4	天草全郡が一町 6 5 ケ村になる 町村制施行 本村 新休村 下河内村の 3 ケ村を合併し本村 と称す
1 8 8 9	明治 22	1 1	本村小学校を本村尋常小学校と改称 荒木誠初代校長着任 卒業生 4 名 天真寺裏山 88 ヶ所
1 8 9 0	明治 23	1 0	教育に関する勅語が出された
1 8 9 1	明治 24		下河内 市ノ瀬の眼鏡橋開通 本村組戸長 佐藤信邦 石工 下浦村大塚光治 2 2.2 m 幅 4.5 m
1 8 9 2	明治 25		天草に自転車出現
1 8 9 4	明治 27	8	日清戦争始まる
1 8 9 5	明治 28	1 1 4 4	県道（登立～富岡）起工 本渡～牛深起工改修（大正元年竣工） 暴風雨のため本村尋常小学校校舎倒壊 伽葉軒を借り授業 中学済々黌天草分校（天草高校）開校する 第 1 回天草郡会開かれる 本村尋常小学校新校舎落成（建坪 7 2 坪 2 合） 香福庵（鶴）光徳庵（平床）晋門院（下河内）に分教場設置 3 年生以上は本校
1 8 9 6	明治 29	5	水平窯場がなまこ焼きを考案
1 8 9 7	明治 30		本渡外港 大門港開港
1 8 9 8	明治 31		本渡・牛深町制施行 人力車（4 3 台）荷馬車（2 台）客馬車（2 台）走り始める たばこ専売制実施
1 8 9 9	明治 32		三角鉄道開通
1 9 0 0	明治 33		天草で汽船運行

1901	明治34		熊本郵便局で電話業務を開始
1904	明治37		日露戦争起こる 本村に伝染病蔓延 新休伝染病院において死者多数
1905	明治38		熊本～東京間に直通列車開通 本村尋常小学校に高等科(2年修業)を併置 本村尋常高等小学校と改称
1906	明治39		富岡往還(現県道本渡五和線)開通 自転車使用始まる 7台
1907	明治40		天草(本渡・宮地・牛深)に始めて電灯つく 吉井勇一行天草来島(5足の鞋)
1908	明治41		小学校義務教育6カ年に延長 高等科を廃止 本村尋常小学校と改称 青年団が結成される
1909	明治42	3	寺領の寅ノ尾堤が竣工 熊本県立天草中学校独立 本村にネーブルを導入(野島治市氏) 伊藤博文が暗殺される 天草最初の活版印刷所 鶴田恵津次(二又)〔天草人名鑑〕出版 天草の人口193,498人
1910	明治43		日韓併合条約締結 本渡 大浦県道開通
1911	明治44		牛深に蒸汽船2隻進水する 下河内～寺領間道路完成
1912	明治45		明治天皇崩御 大正と改元
1912	大正 元	6 11	天草電燈会社発足 本渡発電所開設 米1升2円8銭
1913	大正 2	4 6 12	私立天草養正女学校開校 迦葉軒の本堂庫裡を大改修 亀川に天草蚕糸株式会社創業
1914	大正 3	8 10	ドイツ国へ宣戦布告(第一次世界大戦) 日本軍 青島占領 迦葉軒に鐘つき堂建立 大矢野にホルスタイン種乳牛を導入
1915	大正 4		天草に始めて自動車が走る
1916	大正 5		天草にコレラ発生、死亡者多数 下津深江村に水力発電所ができる 寺領～福岡間道路完成
1917	大正 6	5	天草郡聯合青年団設立 澱粉工場(萩原宗作)建設 富岡町に電灯が灯る
1918	大正 7	2	本村尋常小学校に農業公民学校併設 第一次世界大戦終結
1919	大正 8	5 12	ベルサイユ条約締結 天草製糸株式会社創業 天草酒造株式会社設立 本渡で電話交換業務開始
1920	大正 9	2 4 11	天草繭市場開業 天草郡立天草実業学校開校 本村尋常高等小学校となる 下河内神社狛犬建立(毛利直三郎寄進) 第1回国勢調査、県人口1,233,233人 天草175,576人
1921	大正10	4	熊本県立天草高等女学校改名

		7	肥後銀行天草支店開業 本村青年団新休分団「皇太子殿下御渡欧記念樹」として松を植樹し記念碑を建立（後の一本松） 和牛導入 飼育始める
		10	本渡牛深間に定期バスを運行
1922	大正11		苓州銀行設立 天草共進会産業博覧会を開催
1923	大正12	3	熊本県立天草農業学校改名
		7	瀬戸開閉橋開通 本渡外港 錦島港開港
		9	関東大震災 本村 堂の迫に本村尋常小学校 校舎新築着工 下河内・鶴分教場廃止 迦葉軒を迦葉寺へ昇格
		10	大宮地村に水力発電所建設
1924	大正13	1	清浦内閣誕生 熊本市電開通
			県連合処女会発足
		8	大矢崎築港完成 天草の人口195,344人
1925	大正14	5	普通選挙法公布 治安維持法施行
1926	大正15		天草郡役所廃止 天草支庁に改名 大正天皇崩御 昭和と改元
1927	昭和 2		米1升3円49銭 電灯がつく 普通選挙による初の県会議員選挙 福岡～平床間道路完成 寺領～鶴間道路完成 本村より繭1万貫（37,500kg）出荷
1928	昭和 3	3	本渡新港大矢崎港開港 ラジオ使用始まる 苓洲バス設立（本渡－富岡間15人乗りバス） 富岡に九州大学付属臨海実験所開設
1929	昭和 4	4	本村郵便局開局 平床分教場廃止 上掛道橋架設 龍の橋架設 本村ワサビ組合加工販売 トマト栽培始まる
1930	昭和 5		上津浦正覚寺で切支丹墓石を発見
1931	昭和 6	9	満州事変起こる 本渡町に5間道路が開通
1932	昭和 7		稲の平地干を架干方式へ
1933	昭和 8		県令により水稻晩期栽培始まる 本渡～本村間 岩崎タクシー運行 二浦の横田良一「天草小唄」を出す
1934	昭和 9		天草大千ばつ 本渡 下田県道開通
1935	昭和10	3	天草教育会館完成
		3	本渡上水道完成 本渡町と本戸村が合併 本村青年学校設置 本村小学校へ校旗・ピアノ寄贈（田中直一氏）
		10	宇土洗切まで道路完成
1936	昭和11	2	2・26事件 本渡町上町に合同停留所完成 大矢野村の森慈秀が県議会に天草架橋提案
1937	昭和12		葉煙草耕作始まる 国防婦人会結成

		7	廬溝橋事件 日中戦争始まる 産業組合再建
1 9 3 8	昭和 1 3		満州移民を奨励 天草に豪雪 天草人口 2 5 万人 本村に葉煙草栽培始まる 2 9 戸
1 9 3 9	昭和 1 4	4	警防団令公布 米穀配給制始まる 国民徴用令公布 価格等統制令公布 「産めよ殖やせよ」発表
1 9 4 0	昭和 1 5		日独伊三国同盟締結 南京国民政府樹立 米味噌醤油砂糖塩など切符制採用 「贅沢は敵だ」 紀元 2,6 0 0 年祭 十万山登山口に桜の木を記念植樹（天中生） 招魂場に桜の木を記念植樹（天農生・本渡高女）
1 9 4 1	昭和 1 6	4	太平洋戦争勃発 真珠湾空襲 国民学校令公布 満州開拓青少年義勇軍出発 本村尋常小学校を本村国民学校と改称 本村上平床に電灯つく 青年学校へ報国木炭供出を割当てられる
1 9 4 2	昭和 1 7	7 1 2	天草郡聯合處女會設立 九州産業交通株式会社が設立 天草支庁は天草地方事務所に改名 食料管理法公布 衣料切符制実施 金属回収令で梵鐘供出 福岡～二又間道路完成
1 9 4 3	昭和 1 8		学徒動員要項決定 女子勤労働員強化 佐伊津に天草海軍航空隊が設立 山本五十六戦死 学徒出陣
1 9 4 4	昭和 1 9		沖縄疎開児童 4 0 名本村小学校へ入籍、 食料増産のため運動場の梅檀伐採 神風特別攻撃隊編成 佐伊津海軍航空隊創設 学童疎開、竹槍訓練始まる 巡洋艦長良が牛深沖で撃沈 農会 産業組合が合併し農業会発足
1 9 4 5	昭和 2 0	2 6 8 9 1 0 1 0 1 2 1 2	本村小学校運動場北側に横穴式防空壕を構築 空襲警戒のため分散教育（栢原道場・下河内神社・新休神社 本村神社・聖福庵・平床消防クラブ・香福庵） 佐伊津海軍航空隊より沖縄戦へ出撃（1 6 名戦死） 広島・長崎に原爆投下 ポツダム宣言受諾 終戦 墨塗り教科書出現 農地改革を指令 国民学校授業再開 平床・宇土は教育分駐教育所 東向寺に菊池農兵隊天草支部をおく マッカーサー五大改革指令（男女同権 労働者団結権 学校教育民主化 専制政治廃止 経済機構民主化） 第一次農地改革 下河内に酒井医院開設
1 9 4 6	昭和 2 1	1 1 2 4 1 0	天皇、人間宣言 全国ご巡幸始まる 公職追放令出る 天草人口 2 1 万 7 千人（内、外地引上げ 1 万 2 千人） 貨幣封鎖（新円切替） 戦後初めての総選挙 農地改革（1 1 ・ 2 9 施行） 有機合成剤 D D T ・ B H C を殺虫剤として使用

			沖縄より本村へ疎開していた人 1 5 5 人が故郷へ帰還する。 松田唯雄「天草近代年譜」を刊行
		1 1	日本国憲法（平和憲法）公布
		1 2	大連・樺太・シベリアから引上げ船第 1 号舞鶴港へ入港
1 9 4 7	昭和 2 2	3	教育基本法.学校教育法公布(小中学校 6・3 制発足)
			国勢調査
		4	地方自治法施行(初の民選知事.市町村長統一選挙)
		4	本村国民学校を本村立本村小学校と改称
			新制本村中学校発足(生徒数 1 4 2 名) 校舎を共有
		5	日本国憲法施行
			第一回県民体育祭
			八久保開拓に 1 8 世帯入植
			下河内に毛利医院開業
		1 0	柵の原下公民館が落成
1 9 4 8	昭和 2 3		教育委員会法公布 サマータイム実施 三輪車入る
			宇土分校設置認可
			本村農業会解散 本村農業組合設立
		4	果樹試験場設置 養豚始まる
1 9 4 9	昭和 2 4	4	新休三五番地(東向寺前)に本村中学校落成
			校舎 9 1 2 m ² 敷地 4, 7 5 2 m ²)
			天皇陛下天草御巡行 天皇陛下 八久保へ立ち寄られる
			農地改革進む 動力噴霧器入る
			本渡電報電話局開局
			単一為替レートドル 3 6 0 円設定
		5	牛深鰯景気 魚貫炭坑事故 1 9 名死亡
1 9 5 0	昭和 2 5		除草剤に 2 4 D 使用始まる
		4	本村開拓団 天皇御立寄りの碑建立
		6	朝鮮戦争勃発
		8	警察予備隊令公布 公職選挙法施行
			本村小学校 P T A 結成 初代会長鶴田作雄氏就任
		9	本渡 本村間バス運行
1 9 5 1	昭和 2 6		日米安全保障条約に調印
		3	本村農業委員会設立
		9	太平洋戦争講和条約調印
			本村鶴の山林(5 町 6 反 5 畝 7 歩)を学校林とし本村小中学校
			P T A が共有する
			ルース台風 パチンコブーム
			警察予備隊設置
		1 0	志岐に久恒炭坑を開坑
1 9 5 2	昭和 2 7	4	平床分校設置認可 児童数 2 3 名 教師 1 名
			天草農業試験場開設
1 9 5 3	昭和 2 8	2	N H K テレビ本放送開始
			迦葉寺の本堂庫裡を改修
		8	富岡で鱻狩り 2 0 頭
1 9 5 4	昭和 2 9	2	志岐炭鉱出水事故 3 6 名死亡
		3	本村中学校特別教室(3 室 2 5 6 m ²)新築
		4	市制施行により本町小学校 本町中学校と改称
			本町学校林を本渡市へ委譲 本渡市学校林設置条例施行
		4	市制施行(本渡 佐伊津 本 亀場 柵宇土 楠浦 志柿 下浦)
			総面積 1 2 2, 5 6 平方キロ 人口約 4 万 7 百人

		7 8 1 2 1 2	初代市長に金子亮夫氏就任 自衛隊発足 県警察本部発足 消防署開庁 本渡市漁業協同組合発足 吉田内閣総辞職 電話架設
1 9 5 5	昭和 3 0	3 8 9	本渡市森林組合結成 本渡港完成 天草産業観光大博覧会本渡港埋立地(1 1 月 1 1 日まで) 第 8 回国勢調査人口 8,9 2 7 万人 天草架橋期成会発足 水稻耕作に耕耘機使用始まる 水稻早期栽培始まる 政府買入米の予約売渡制度始まる 客馬車なくなる
1 9 5 6	昭和 3 1	4 6 7 6 1 0	第 2 代本渡市長に値賀正次郎氏就任 日ソ国交回復 国際連合に加盟 千人塚落成 殉教慰霊祭開催 天草雲仙国立公園発足 本渡市本町支所廃止 岡部禅龍氏が教育委員就任 売春禁止法成立 占領軍総引揚げ
1 9 5 7	昭和 3 2	4 6	宮地岳村本渡市へ編入 ミルク給食開始 本渡市にテレビが入る 新農山漁村建設対策事業実施さる 耕運機入る 本町雪州林道が完成
1 9 5 8	昭和 3 3	5	N H K 熊本テレビ局開局 瀬戸橋はね上げ式に改修 1 万円札発行
1 9 5 9	昭和 3 4	2 3 4 9 9	本渡町土手区大火 本村に有線放送電話業務開始 (4 7 年 4 月廃止) 皇太子御成婚 公社電話自動化 農畜産物輸入自由化 酒井医院改め酒井病院開設 二江沖の原古墳発掘始まる 7 千年前の人骨出土
1 9 6 0	昭和 3 5	1 4 9 1 0	日米安全保障条約調印 第 3 代本渡市長に横山寛人氏就任 熊本空港オープン 富岡で鱻狩り 1 0 1 頭 市営グラウンド完成 第 1 5 回国体(高校軟式野球)開催 蜜柑園造成始まる 郡内で町制施行進む(大矢野・河浦・五和・苓北・天草・ 松島・有明・竜ヶ岳・倉岳)
1 9 6 1	昭和 3 6	3 4 5	国民年金法施行 農業基本法施行 第一次瀬戸開削工事竣工 新和町発足 本町寺領農道が竣工
1 9 6 2	昭和 3 7	3 4 5	本町小学校(本渡市最初の鉄筋校舎)落成 完全給食開始 姫戸町発足 平床公民館(分校兼用)落成

		5	栃光大関になる
		6	太田町 南新町埋立完成
		7	天草架橋着工
			本村にプロパンガス普及する
		8	天草西海岸道路（大江－崎津）開通
		9	水中翼船就航(本渡三角 本渡島原)
		9	本町中学校に校歌を制定
		9	栖本町発足
		1 0	本町保育園開園 6 0 名 理事長松下義雄 園長鶴田義正
1 9 6 3	昭和 3 8	2	本渡～熊本間の電話ダイヤル即時化
		4	県立天草工業高校開校
			深海村出身力士の栃光が大関昇進
		1 1	御所浦町発足
1 9 6 4	昭和 3 9	6	本町支館から本町公民館へ移行
		6	本渡市農業協同組合誕生
		6	本渡市農協下河内出張所開設
			ヘリコプターによる農薬散布実施
			農業構造改善事業実施 平床に果樹園(1 4 . 3 9 ha)造成
		1 0	本渡町中央商店街大火(損害約 1 0 億円)
		1 0	舟浜地区埋立完成
		1 0	オリンピック東京大会開催
		1 0	岡部禅龍氏教育委員長に就任
			本町中学校技術実習室(1 1 6 m²)竣工
			本町～坂瀬川線竣工
			天草四郎陣中旗が国重要文化財に指定
		1 2	東海道新幹線開通
1 9 6 5	昭和 4 0	2	米、北ベトナム爆撃開始
			本町で水稻一斉航空防除
			公社電話全国即時通話網に編入
			天草みかん第一選果場落成 米づくり運動実施
		1 1	吉展ちゃん事件
1 9 6 6	昭和 4 1	2	本町中学校第二運動場(8 1 3 m²)新設
			本渡中学校落成
			天草職業訓練所落成
		8	本町掛道に精薄児施設天草学園開設
		8	天草切支丹館落成
		9	天草五橋開通
			本渡市農協ミカン低温貯蔵庫落成
		1 1	市庁舎落成 消防庁舎落成 大旱魃
			新休の門前橋が竣工
		1 1	カラーテレビ入る
1 9 6 7	昭和 4 2	3	新県庁舎落成
		4	県営楠浦ダム完成(1 0 6 万トンの工費 5 億 4 千万円)
		4	本町小学校特殊学級二学級設置
		4	本町中学校特別学級設置
		6	アラブ諸国とイスラエルの中東戦争開始
		7	港大橋竣工
		8	本町中調理室(6 7 m²)竣工
		9	ホーバークラフト就航 本渡～熊本要江港
			本町掛道に精薄者施設茶山寮開設

		1 1	県下全域大干ばつ
1 9 6 8	昭和 4 3	4	皇太子.美智子妃殿下御行啓
		5	天草農業経済圏共販センター落成
		6	本渡市農協長に松下義男氏就任
			本町福岡に温水循環育苗ハウス設置(葉煙草)
		9	水俣病を公害認定
		1 0	第 2 3 回県民体育大会開催 本渡～大矢野間完全舗装
		1 1	市民センター開館
		1 1	本渡郵便局舎落成 郵便番号制発足
		1	東大紛争学生 3 7 4 人逮捕 熊大紛争
			本渡交通センター落成
			蜜柑選果場落成
		3	杵原パイロット事業完成
		7	アポロ 1 1 号月面着陸
		8	医療法人啓正会酒井病院と改称
			県天草総合庁舎落成 誘致企業(渋谷電器
			羊角湾干拓工事起工 都呂々竹の迫炭坑閉山
1 9 6 9	昭和 4 4	1 0	本渡一富岡間が国道 3 2 4 号線となる
1 9 7 0	昭和 4 5		羊角湾地域総合開発事業始まる
		5	米軍 北ベトナムを猛爆撃
		5	本町中学校体育館(5 1 0 m²)竣工
		6	本渡市議員定数 2 6 名に
		8	天草総合庁舎落成
		8	本町掛道に火葬場完成(総工費 1,4 1 5,0 0 0 円)
			カラーテレビ普及 米の生産調整始まる 日本万国博開幕
		1 0	本町公民館移転改築落成 1 9 9 m² 2 8 9 万円
		1 0	本町青年団虫追い太鼓復活
		1 1	宇土分校改築落成
1 9 7 1	昭和 4 6	3	農免道路本渡～五和間完工
			本渡地区消防組合発足
		4	新熊本空港開港
		6	沖縄返還協定調印式
		7	市営グラウンドナイター施設完成
		7	本町小学校プール完成 下河内簡易水道完成
		1 2	円切上げ(1 ドル 3 0 8 円)
1 9 7 2	昭和 4 7	4	地域集団電話開通 有線電話廃止
			横浜でカラオケ始まる
		5	沖縄返還、県民 9 5 万の沖縄県発足
			日中国交回復(田中角栄)
			天草上島に集中豪雨 山津波発生 死者不明 1 2 3 名
			家屋全半壊 8 百戸
		7	二又橋架設 田代橋架設
1 9 7 3	昭和 4 8	2	林業構造改善事業林道 広野線開通
		3	本町中家庭科室音楽室(1 6 9 m²)竣工
		4	天草広域消防組合開所
		5	中央公民館.勤労青少年ホーム完成
			県立天草青年の家開設
		1 1	熊本大洋デパート大火災
			石油ショックにより温州ミカン価格大暴落
			県立天草東高校・天草西高校発足

			本町新休に県立天草養護学校開校 小中学校の特殊学級廃止 普門院.光徳庵.香福庵 廃庵
		5	天草瀬戸大橋開通
		1 1	市の木「榎」を選定
			福岡樋の口橋架設
1 9 7 4	昭和 4 9	1 2	市役所行政機構改革 部長制採用
1 9 7 5	昭和 5 0	4	とおしもん復活
		5	杵原に知的障害者更正施設「南海寮」認可
		6	志岐炭鉱閉山
		6	本渡市文化財に東向寺歴代住職の墓を指定
			本渡市農協本町支所落成
		7	学校給食センター施設完成 中学校も学校給食始まる
		8	五橋通行料無料化
			農地転用 転作(小麦.大豆)奨励 農機具センター落成
			本町小学校創立百周年記念式典挙行
		1 0	人口 2 6 4 6 人 世帯 5 7 6 戸
1 9 7 6	昭和 5 1	2	ロッキード事件発覚
		3	十万山展望台完成
		4	行政自治会長制度発足
		4	本渡市青少年センター発足
			本町寺領青壮年会設立 初代会長に鶴田経久氏
		1 0	日中海底ケーブル開通
		1 1	広域農道トンネル開通
1 9 7 7	昭和 5 2	3	本渡市立図書館.南公民館落成
			本町東向寺保育園開園 3 6 名 園長岡部禅龍氏
		4	本渡地区清掃センター操業開始 地域農政特別対策事業始
			教良木ダム完成
		5	本町福岡青壮年会設立 初代会長に松下行男氏
1 9 7 8	昭和 5 3	3	本渡バスセンター落成 下島横断有料道路完成
		3	本町杵原青壮年会設立 初代会長に鶴田功氏
		4	浄水センター処理開始 瀬戸歩道橋完成
		1 0	高速船就航 本渡～島原
1 9 7 9	昭和 5 4	3	天草下島北部地区広域農道完成 道目木トンネル完成
		9	下河内にテレビ中継局開局 NHK RKK TKU
			電話ダイヤル化
			平床公民館改修 掛道橋架設
			第 3 4 回県体天草大会 温州ミカン園転換促進事業実施
		9	錦島 野菜一次加工施設落成
1 9 8 0	昭和 5 5	2	本町小学校体育館落成工費 5,0 4 8 万
			歴史民俗資料館完成
		9	運動場完成 1 1, 7 6 5 m ² 工費 7,2 9 9 万
			本町新休寺領地区圃場整備完成
			30ヘクタール 工費 2 億 4,4 9 8 万 6 千円
			掛道自治公民館改修
			農用地高度利用促進事業始まる
			本町下河内青壮年会設立 初代会長に森寅信氏
		1 0	国勢調査 (1 億 1, 7 0 5 万 7 4 8 5 人)
		1 0	米飯給食週 2 回実施
		1 1	第 1 回市民大運動会開く

1 9 8 1	昭和 5 6	2	早期米コシヒカリ導入 栽培講習会 市立民族資料館開館 亀川ダム貯水始まる
		4	柵の原公民館改修 本町横久保青壮年会設立 初代会長に松村真澄氏
		5	福岡地区圃場整備完成
1 9 8 2	昭和 5 7	3	福祉センター・保健センター完成
		4	県営亀川ダム完成 総合武道館完成 学校規模適性化審議会発足 本渡中央銀店街アーケード増築 本町新休青壮年会設立 初代会長に岡部有恒氏 本町小学校ナイター施設完成 7 5 8 万円 鶴地区圃場整備完成 新休公民館改修 横久保公民館改修
		9	水平～下河内間二車線化 一の瀬橋架設 毛利内科新築移転
1 9 8 3	昭和 5 8	3	学校規模適正化審議会の答申でる
		3	市庁舎増築工事完成
		3	政府臨時行革推進議会意見書提出 本町小学校宇土分校閉校（昭和 2 3 年開校） 本町平床青壮年会設立 初代会長に松下義重氏
		3	鈴木神社 3 3 0 周年大祭 拝殿新築落成
1 9 8 4	昭和 5 9	1	市の瀬眼鏡橋と石碑を本渡市文化財に指定 第 9 代本渡市長に久々山義人氏就任
		9	本渡の歌「本渡わが街」決る 本町鶴青壮年会設立 初代会長に若林一也氏
		1 1	市制施行 3 0 周年記念式典 市の鳥「カワセミ」を選定
1 9 8 5	昭和 6 0	1 0	第 1 回トライアスロン天草大会開催
		1 1	本渡市行財政改革推進協議会発足
		1 2	港新橋開通
1 9 8 6	昭和 6 1	2	本渡市行財政改革大綱を発表
		3	本渡警察署東浜派出所完成 本町小学校平床分校廃校（昭和 2 7 年開校） 本渡市 P T A 会長・学校給食会長・天草 P T A 会長に鶴田功氏 就任
1 9 8 7	昭和 6 2	4	消防防災無線開局 天草島原の乱 3 5 0 年祭開かる 町内で施設園芸(ハウス)農業始まる
1 9 8 8	昭和 6 3		新休 運動広場完成 県道 下河内～新休間二車線化
		3	広瀬公園野球場完成 本渡運動公園改修工事完成
		9	米国カリフォルニア州エンシニタス市と姉妹都市締結
1 9 8 9	昭和 6 4	1	昭和天皇崩御 魚貫崎漁港に難民船（1 6 7 人）が漂着
1 9 8 9	平成 元	2	昭和天皇大喪の礼 広瀬公園野球場（長島茂雄球場）完成 消費税スタート 本渡五和農業協同組合発足
		1 1	ベルリンの壁崩壊
		1 1	大矢遺蹟から九州最古の土偶出土
		1 1	本渡勤労者福祉センター開館
1 9 9 0	平成 2		東西ドイツ統一
		3	本町公民館落成 第 1 回ふるさと祭り実施

			広瀬砂防ダム完成(宇土) 戸原運動広場完成 寺領自治公民館落成 6 ペルー大統領に日系2世フジモリ氏(川内町)当選 10 東西ドイツ45年ぶりに統合 ベルリンの壁崩壊 10 県民文化祭(本渡市 牛深市) 11 雲仙普賢岳噴火 11 天草森林組合発足 12 本町 町づくり推進委員会発足
1991	平成 3	1 中東湾岸戦争勃発 県知事に福島譲二氏が初当選 市立看護専門学校開校 4 ソ連邦ゴルバチョフ大統領初来日 4 市立看護専門学校開校 誘致企業 西九州部品営業開始 6 雲仙普賢岳大火砕流発生 9 台風17号・19号県下災害甚大 11 第一回市民文化祭開催 11 鈴木神社顕彰祭を11月23日(勤労感謝の日) 催行 12 ソビエト社会主義共和国連邦解体	
1992	平成 4	1 商工会館完成 3 本町 町誌編纂委員会発足 シルバー人材センター設立 6 東向寺庫裡屋根工事 あまくさ農業協同組合発足 10 都呂々漁港に中国密航者(61人)上陸	
1993	平成 5	天草学林開設400年祭開催 日本ポルトガル友好50年祭開催 7 連合政権樹立 細川総理誕生(日本新党) 政府、米市場部分開放を決定 9 台風13号九州被害甚大 冷夏で米不作 山口～道面間二車線化 掛道橋架設 12 下河内自治公民館新築再建	
1994	平成 6	2 HⅡ型国産ロケット打上げ成功 米穀緊急輸入 4 ウルグアイラウンド最終合意 1ドル100円を突破 7 向井千秋 日本人女性初の宇宙飛行士に 11 政治改革法成立	
1995	平成 7	1 阪神淡路大震災(M7・2、死者5千余名) 3 オウム真理教事件 4 円が戦後最高値を記録 東京外国為替市場で1ドル79円75銭) 12 熊本市が中核指定都市 苓北火電本格稼働	
1996	平成 8	6 東向寺開創350年法要	
1997	平成 9	2 戸原下自治公民館新築再建 東向寺31世入山式 迦葉寺法堂、庫裡を新築再建 本渡～熊本新港間に高速艇マリビュー就航 御所浦町で肉食恐竜の歯を発見 本渡祇園橋国重要文化財に指定 4 〔天草方言集〕鶴田功著発刊	
1998	平成 10	1 天草エアライン株式会社設立	

		3	本渡馬場～法泉寺間バイパス開通 鈴木正三シンポジウムが開催される
1999	平成11		三県架橋シンポジウムが開催される 熊本未来国体開催 携帯電話が一般に普及する 天草広域連合設置
2000	平成12	3 3 4 5 12	福島県知事死去 新本渡清掃センター落成 天草空港開港、ダッシュエイト就航 ホームページ〔天草本邑のあゆみ〕開設 潮谷義子知事誕生 第13代本渡市長に安田公寛氏就任 東向寺31世岡部守信和尚晋山式 天草中央漁業協同組合発足 〔天草方言集〕ホームページ開設
2001	平成13	11 12	J A本渡五和本町支所新築移転 天草消防組合・衛生施設・斎場管理組合が広域連合に統合 学校給食に強化磁気食器導入 普門院境内の子安弘法大師堂新築再建
2002	平成14	3 4 5 6 8 9	ニューヨーク市同時多発テロ 東向寺で天草土人形展が開かれる 天草アーカイブス（文書館）開館 ワールドカップサッカー大会が開かれる 天草地域森林組合発足 本町「まちづくり実行委員会」発足 ホームページ「本町のホームページ」開設 県道寺領平～引地線開通 天草2市8町で「天草合併協議会」設置 寺領迦葉寺に葛西啓二和尚が入山
2003	平成15	3 3 4 10 10	イラク戦争勃発 J A本渡五和が機構再編、北支所本町支店となる あまくさ漁業協同組合発足 掛道に天草本渡斎場落成 本町公民館 全国優良公民館表彰受賞 鈴木重成公没後350年式典
2004	平成16	4 7 10	第14代本渡市長に安田公寛氏就任 天草2市8町で 天草合併協議会 再設置 本町小学校 PTA が日本 PTA 連合会表彰・文部大臣表彰受賞
2005	平成17	1	県知事に「廃置分合申請書」提出 天草漁業協同組合発足
2006	平成18	3	〔本町の歴史〕発刊 天草市発足
2007	平成19	6 10	栢原に老人福祉施設 葉山苑開設 年金記録未統合判明 郵政民営化スタート
2008	平成20	4 10 11	下河内に老人福祉施設 天領の杜開設 日本人4人がノーベル賞 アメリカで史上初の黒人系のオバマ大統領が誕生
2009	平成21	5 8	迦葉寺11世晋山式（葛西啓二和尚） 衆院で民主党圧勝 政権交代成る 鳩山由起夫総理誕生
2010	平成22	2	郷土の本・著者の集い（熊本県文化教会）

		3	本町中学校閉校
		4	本渡中・本町中・佐伊津中が統合して本渡中学校に校名変更
		6	菅直人総理
		9	尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突
2 0 1 1	平成 2 3	3	東日本大震災・福島原発事故
		3	九州新幹線全線開通
		7	東向寺鐘楼堂再建
		9	第 9 5 代野田佳彦総理大臣
2 0 1 2	平成 2 4		領有権問題（尖閣・竹島）悪化
			東向寺保育園新築移転
			阿蘇集中豪雨で被害甚大
		1	山中伸弥教授ノーベル賞授賞
		1	衆議院自民党圧勝 安倍晋三総理
2 0 1 3	平成 2 5	5	天草方言集第七版発刊 （熊日・西日本新聞掲載）
2 0 1 4	2 6	2	郷土の本・著者の集い（熊本県文化協会 日航ホテル熊本）
		2	天草方言集第八版発刊